

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

2

「地域福祉計画」
町民アンケート

8
2010ほんべつ

雪あかりナイト

10

本別町行政改革推進委員会
本別町使用料等審議会
本別中央小学校開校40周年記念事業
「よここま先輩」

12
本別ボランティアクラブかめ

14
知っておこう
新型インフルエンザ
国民年金コーナー

16
私たち4月から1年生

17
第六次本別町総合計画
Part10

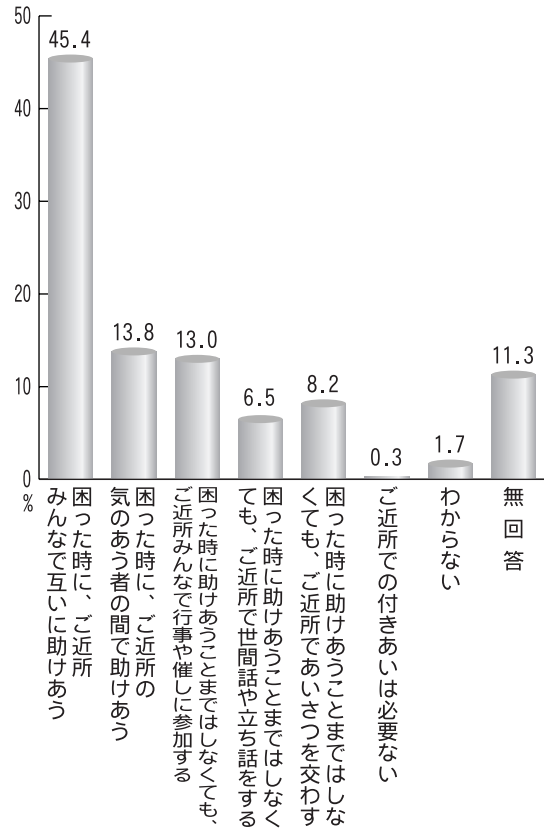
ハロー勇足中学校……………18
マイタウン……………19
みんなの健康・銀河ホットライン……………22
ご寄付ありがとうございました……………23
本のある暮らし・わたしたちのまち……………24



大根抜き!

2月6日開催の少年少女冬のレクリエーションの集いで、相手チームに引き抜かれないように肩を組む子供たち

町民アンケート調査結果報告

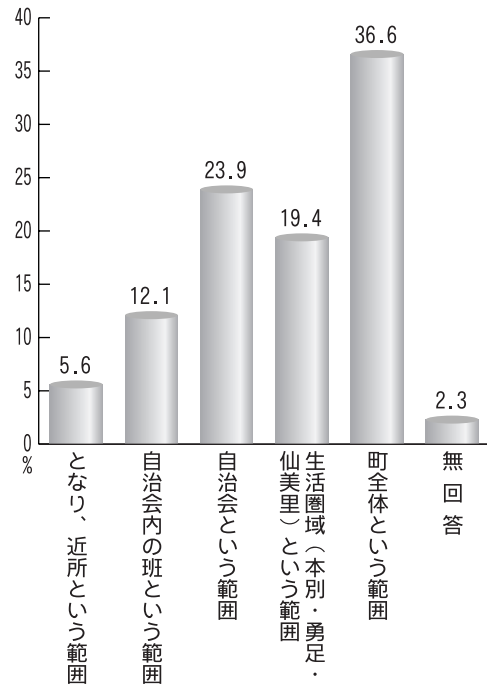


② 望ましい付き合いの程度とは？

望ましい付き合いの程度については「困ったときに近所みんなが互いに助け合う」が四五・四％と最も多くなりました。また「ご近所での付き合いは必要ない」は〇・三％と非常に少なく、全体としてならんかの近所付き合いが必要であるとの結果になりました。

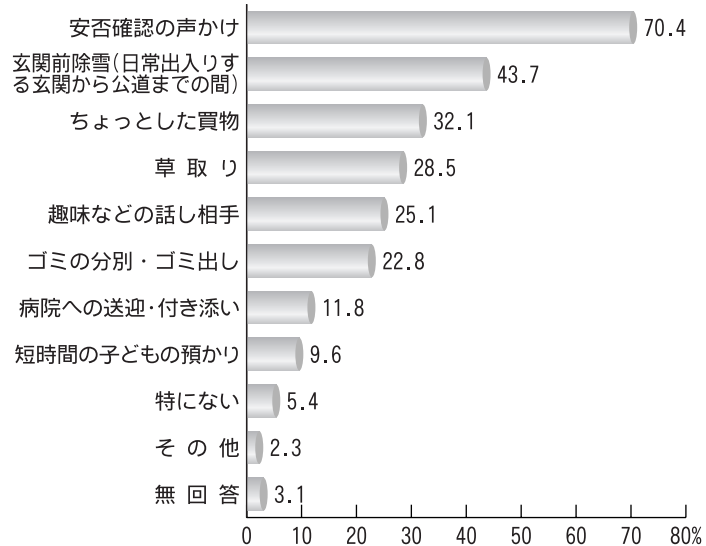
① 地域の範囲とは？

「地域」の範囲については、「町全体という範囲」が36.6％と最も多く、次いで「自治会という範囲」が23.9％、「生活圏域（本別、勇足、仙美里）という範囲」が19.4％の順となりました。



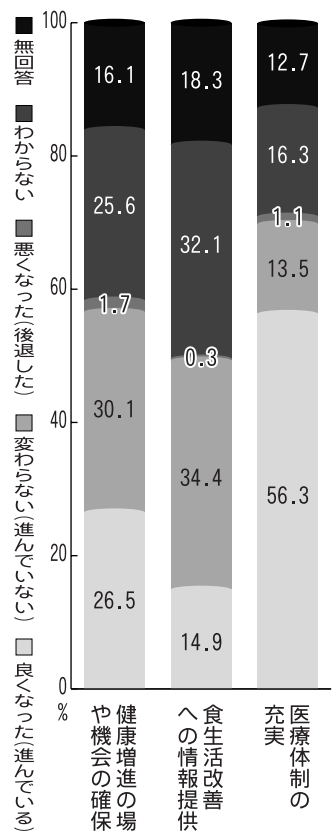
③ 近所で困っている人に対してできることは？

「安否確認の声かけ」が70.4％と最も多く、次いで「玄関前除雪（日常出入りする玄関から公道までの間）」が43.7％となりました。※複数回答



④ 健康について

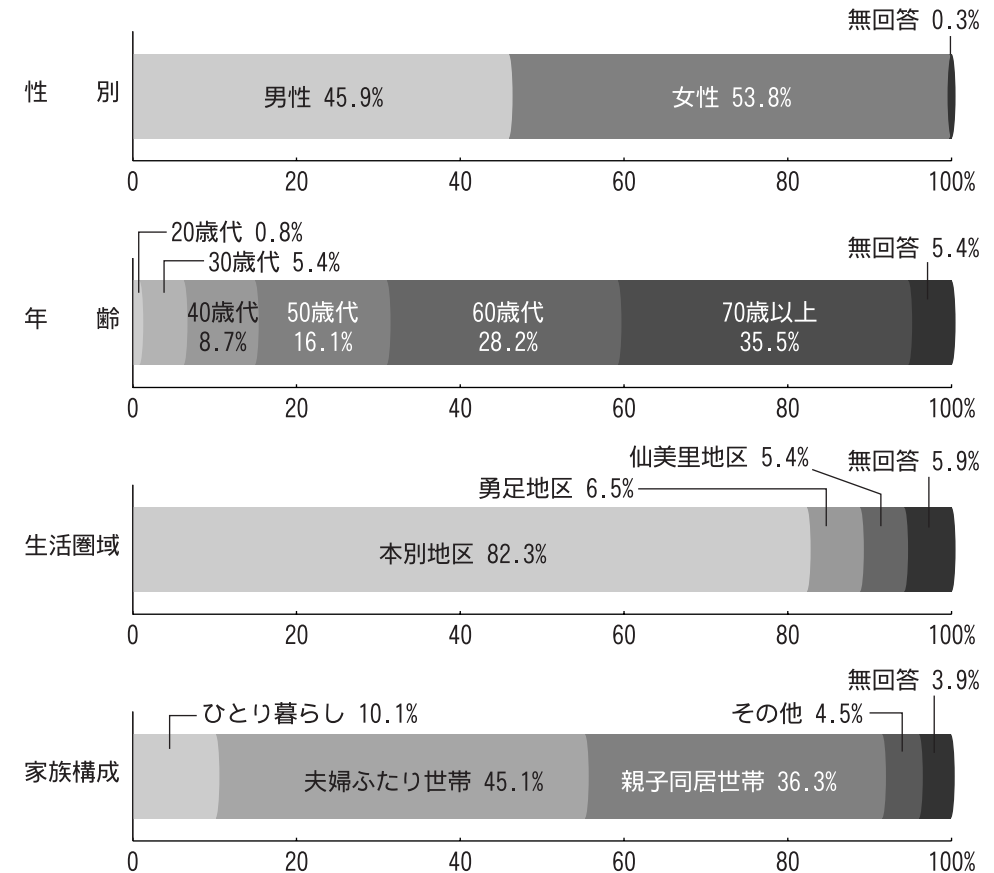
五年前と比較して「医療体制の充実」が「良くなった（進んでいる）」と感じている人が五六・三％となりました。「健康増進の場や機会の確保」、「食生活改善への情報提供」では「変わらない（進んでいない）」または「わからない」と回答された人が全体の過半数を超えました。



「第二期地域福祉計画」の平成二十二年度策定に向けての貴重な資料とするため、昨年の十月から十一月にかけてアンケート調査を実施しました。この計画は、「福祉でまちづくりを進めるためのものであり、多くの住民参加によって計画を創り出す過程で人をおこし、町をおこし、豊かなコミュニティを築くこと、各地域のみなさんの「声」「想い」「活動」を反映させ、福祉を地域全体でつくりあげることが重要です。アンケート結果から、町民のみなさんの考え方にどんな傾向がみられたのか報告します。

ご回答いただいたみなさんの基礎データ

- 調査実施時期：平成21年10月～11月
- 配布・回収方法：郵送配布、郵送回収
- 調査対象：町内に居住する20歳以上の町民の中から、無作為に700人を抽出
- 回収率等：配布数＝700票、回収数＝355票、回収率＝50.7％
※比率は四捨五入しているため、合計が100％にならない場合があります

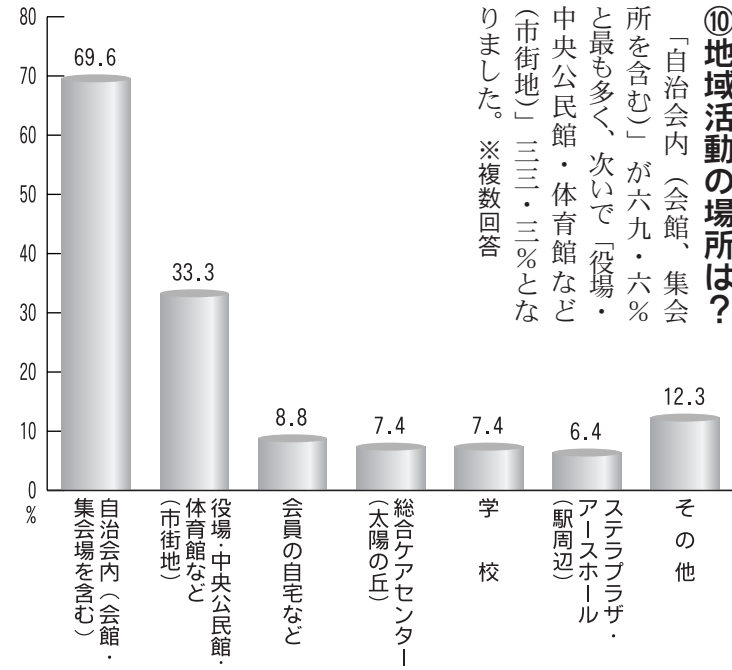
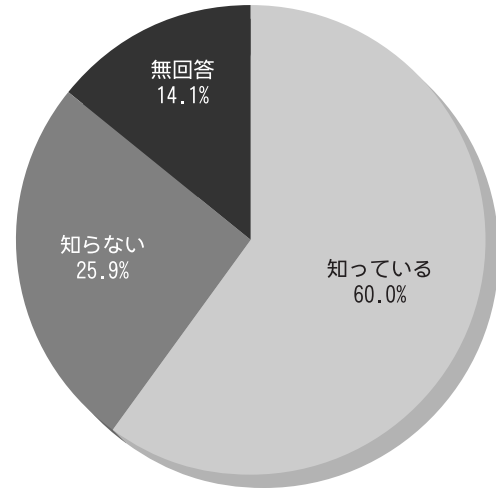


計画を実行することに意義がある

「地域福祉計画」町民アンケート

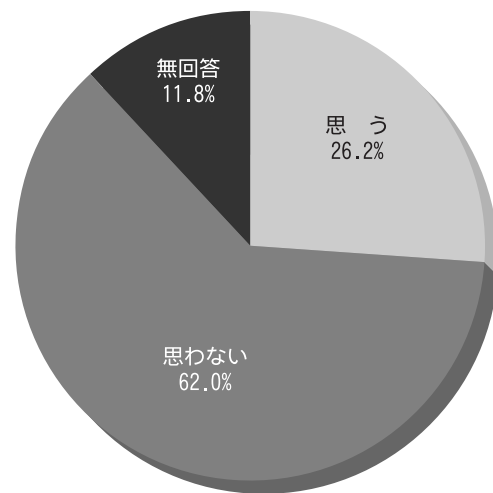
⑪ 社会福祉協議会のボランティアセンター活動への取り組みは知っていますか？

「知っている」が過半数の60.0%を占め「知らない」は25.9%でした。



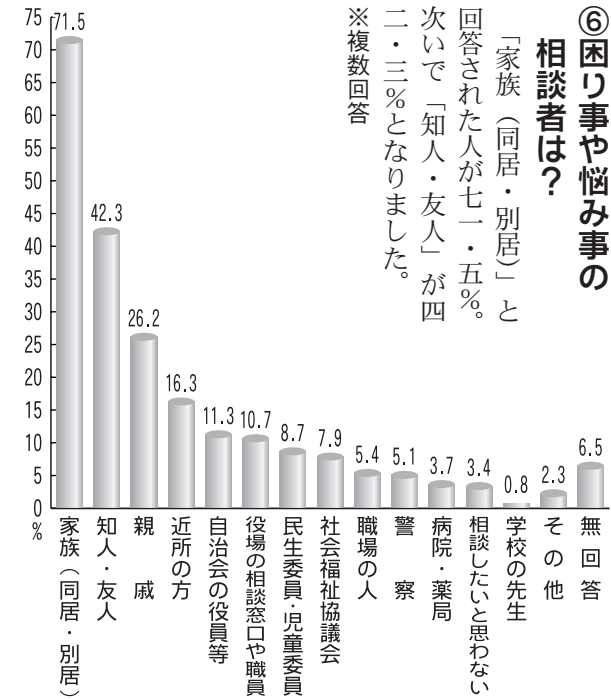
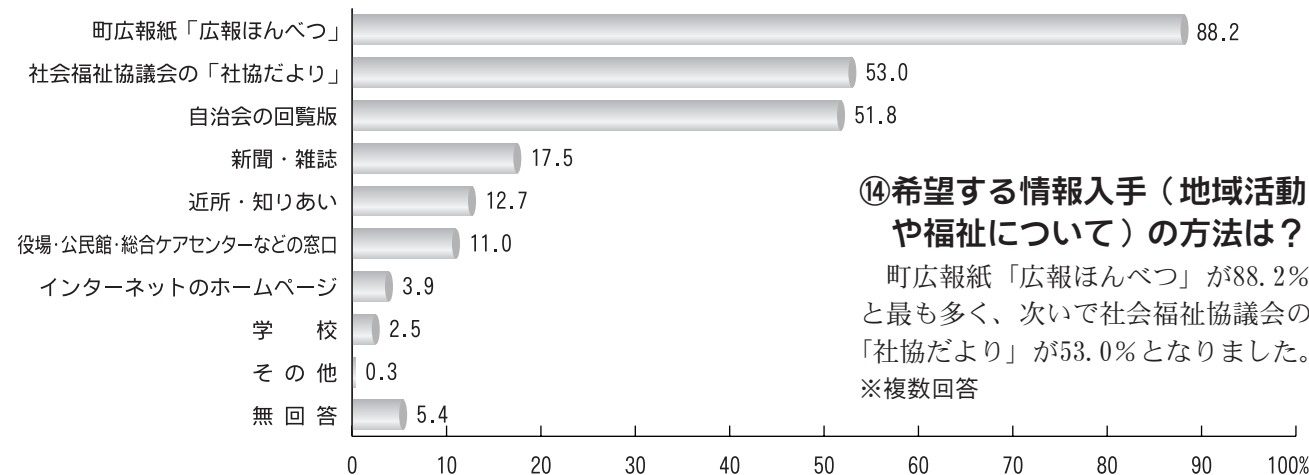
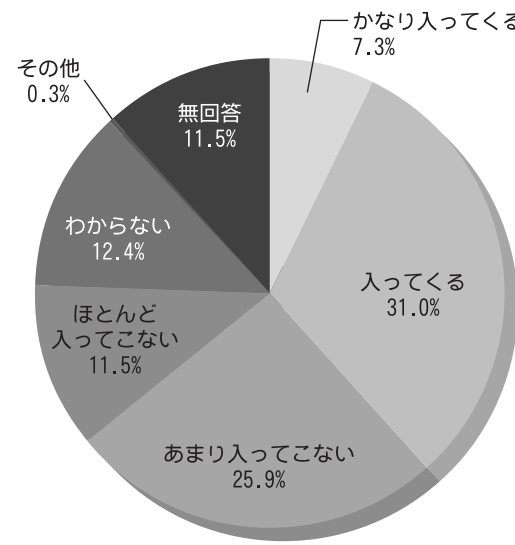
⑫ ボランティアセンターに登録して活動したいと思いますか？

「思う」と回答された人が26.2%、「思わない」が62.0%となりました。



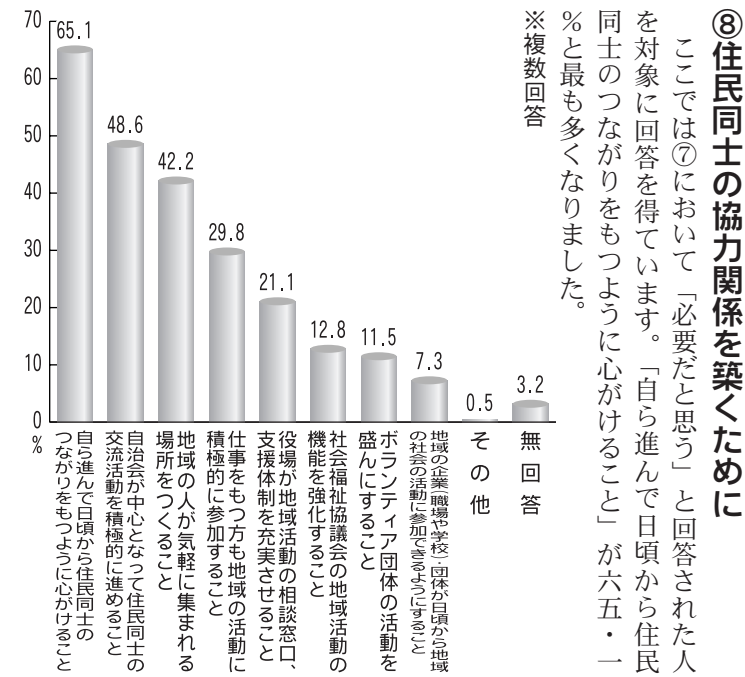
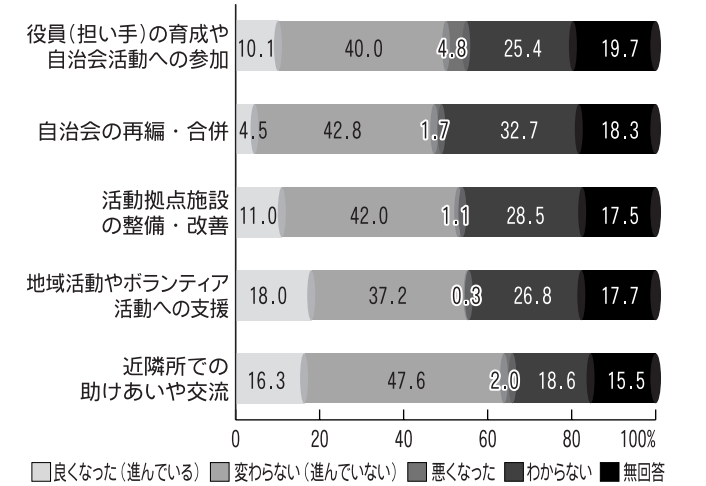
⑬ 地域活動や福祉に関する情報の入手状況について

「入ってくる」が三一・〇%と最も多く、「かなり入ってくる」は七・三%となりました。



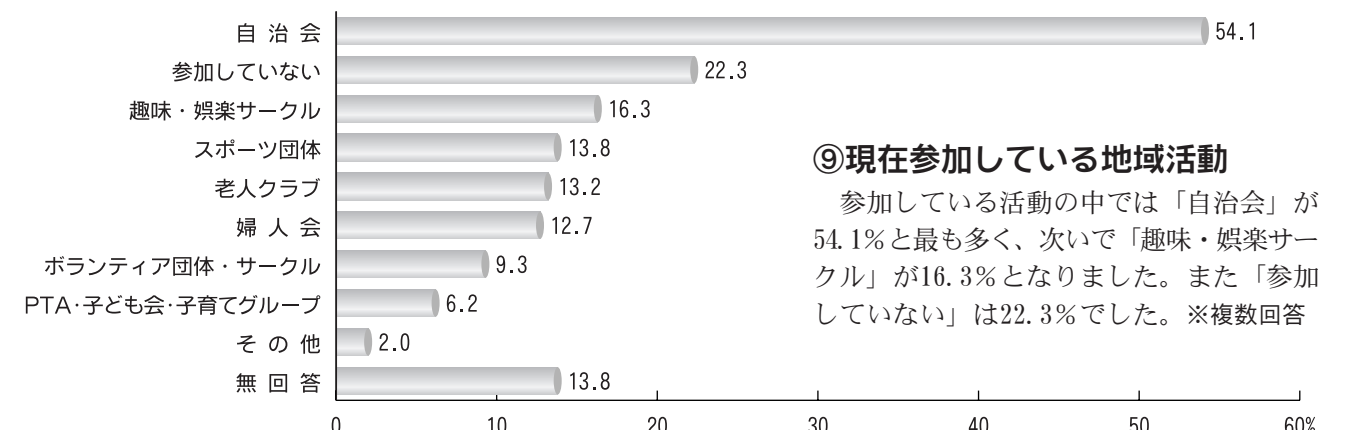
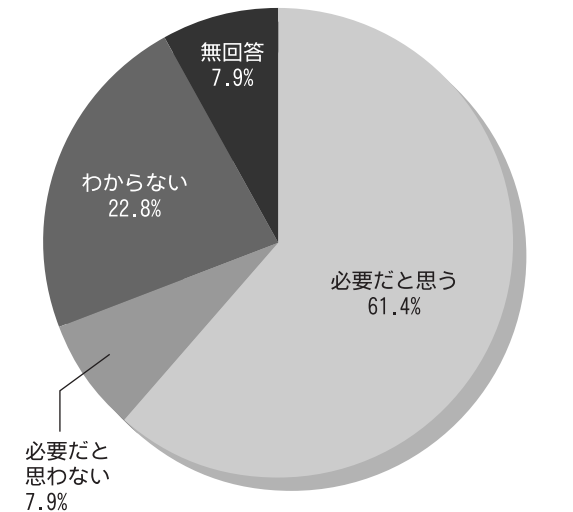
⑤ 自治会・地域活動について

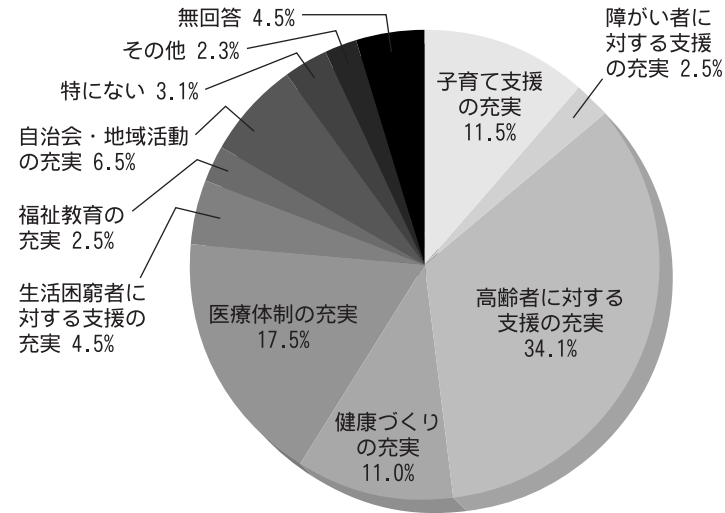
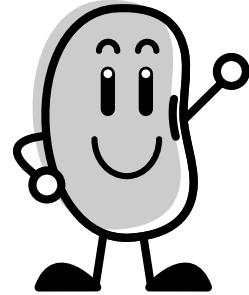
自治会・地域活動については各課題共に、約4割の人が「変わらない（進んでいない）」と回答。その中で「地域活動やボランティア活動への支援」において18.0%の人が「良くなった（進んでいる）」と感じています。



⑦ 住民同士の自主的な協力関係

「必要だと思おう」と回答された人が61.4%。次いで「わからない」が22.8%、「必要だと思わない」が7.9%となりました。





⑳これから特に力をいれて取り組む事とは？
「高齢者に対する支援の充実」と回答された人が最も多く三四・一%。次いで「医療体制の充実」が一七・五%となりました。

福祉ばかりではなく、若者も住みやすい町にするべきではないか。福祉の町、スポーツ推進の町というが、福祉ばかりが推進されているように感じる。スポーツも各協会で行っているのもう少し町からの力を借りたいと思う。室内競技では、満足のいく施設は中学校の体育館のみであり学校体育館なので十分な借用が難しい。日曜日なども借りたい場合はどうしたらよいか。
(40歳代・女性)

福祉＝先進的な取り組み十分理解していますが、取り組みが多すぎて、理解できない（やりすぎの感あり）。次から次の計画や宣言でとまどう住民の声も良く聞きます。私個人の意見ですが、あまり〇〇計画、〇〇策など手を広げるのも充実した福祉のため結構なのですが、根幹をなす策だけを丁寧に行ったほうが住民も理解しやすく集中できるのではと考えています（否定的ではないです）。本別の取り組みは素晴らしいと思います。その辺、足並みをそろえば名実ともに自慢できる福祉・ほんべつとなる気がします。
(40歳代・男性)

「地域での助け合い・支え合い」を達成するためには、住民の意識改革が必要だと思います。単なるアンケートに終わることなく、担当者は積極的に推進し、目に見える活動をするを希望します。アンケート調査の中で、5年前と比べてとありますが、この5年間にどんな取り組みがされたのでしょうか。
(60歳代・男性)

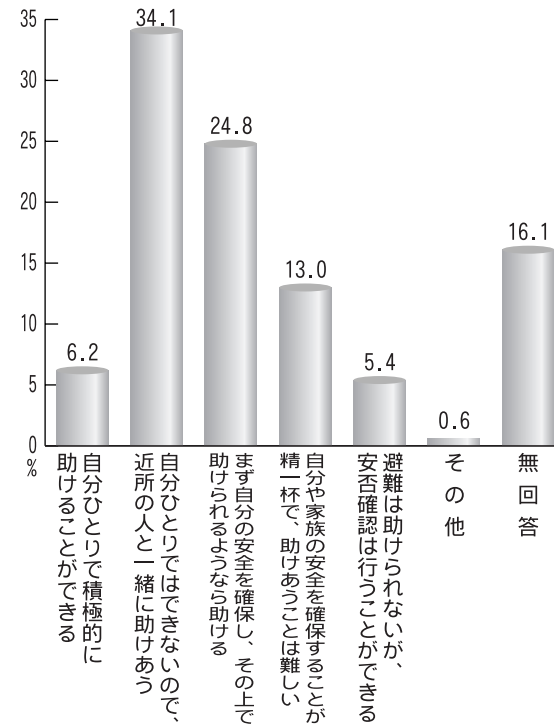
寄せられた自由な意見や要望

大変苦勞される業務だと思いますが、頑張ってください。
(50歳代・男性)

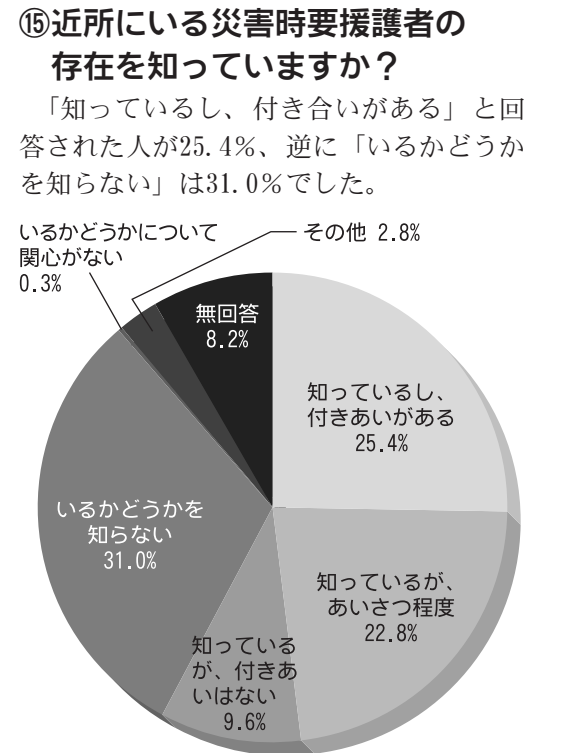
「豆」、「福祉」だけでなく、道東道を利用した企業誘致など、若者が町に残れるような魅力あるまちづくりを進めていただきたい。
(40歳代・男性)

町職員には自治会の行事等に協力して欲しい（住んでいる地域班）。スポーツ振興の町のキャッチフレーズで、健康維持のためパーク場、体育施設は無料にするべきです。町、国保病院、眼科の件、予約者以外は診察を受けられないなら看板には予約者のみ等、書き直した方がわかりやすい。福祉の町はわかりますが、ボランティアの協力者はほとんど老人で無理な協力要請が多すぎる。
(60歳代・女性)

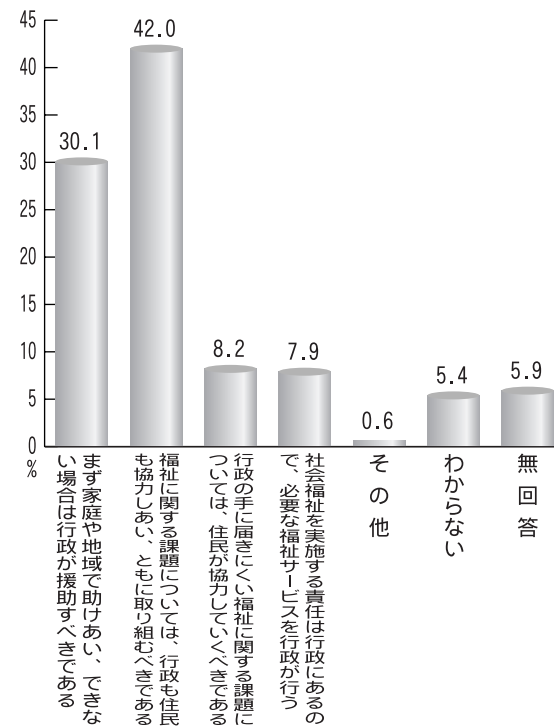
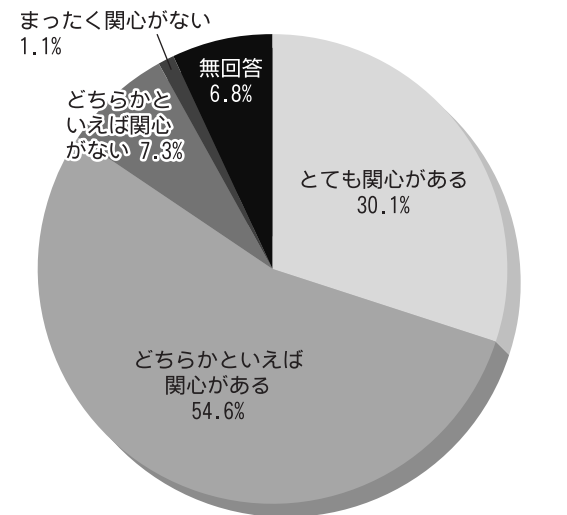
高齢者故、色々とお世話を掛けますが私は本別町が大好きです。
(70歳以上・女性)



⑮災害時において要援護者へ手助けができますか？
「自分ひとりでできないので、近所の人と一緒に助けあう」と回答した人が最も多く三四・一%。また「避難は助けられないが、安否確認は行うことができる」は五・四%となりました。

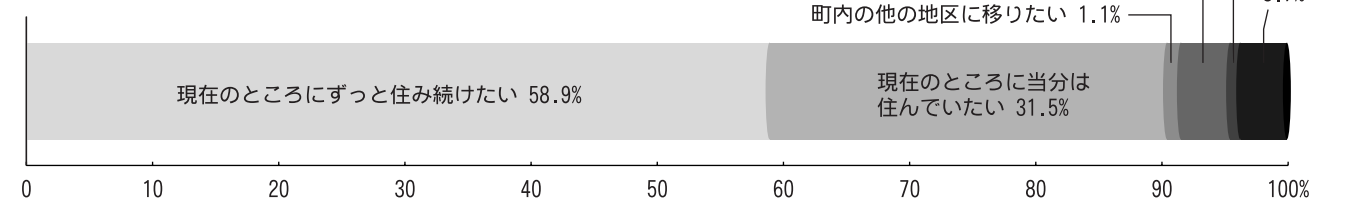


⑯福祉への関心
「どちらかといえば関心がある」と回答された人が最も多く54.6%となりました。全体として「関心がある」と感じている人が8割以上という結果になりました。



⑰今後の「福祉」のあり方について
「福祉に関する課題については、行政も住民も協力しあい、ともに取り組むべきである」と回答された人が最も多く四二・〇%となりました。

⑱これからも本別町に住み続けたいですか？
「現在のところずっと住み続けたい」と回答された人が過半数の58.9%。次いで「現在のところには住んでいたい」が31.5%となりました。





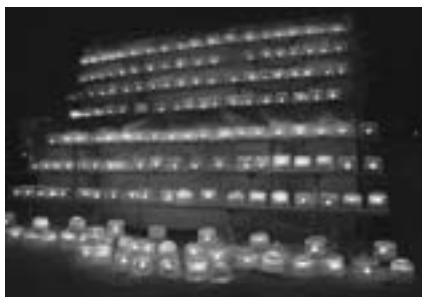
元気くんも温かい光に包まれました



雪中宝探し



出発！高さ5m「氷の滑り台」



アイスクャンدلコンクール入賞者

- ★ビックスター賞……………北4丁目自治会
- ★スター賞……………本別高等学校
- ★商工会長賞……………弓削旅館
- ★雪あかりナイト賞……………鈴木時計メガネ店
- ★特別賞……………18年羊年会

2010 ほんべつ 雪あかりナイト

本別の冬のイベント「雪あかりナイト」(実行委員会主催)が二月六日、道の駅ステラ★ほんべつや銀河通り、大通りで開催されました。
午後四時の本別中央小学校一、二年生九人による点灯式を合図に、通りに並べられた町民手作りのアイスクャンدلやスノーキャンدل約八六〇〇個に次々と点火。キャンデルの中のロウソクに火がともされると、やわらかく暖かい炎が幻想的な夜を演出し、会場を訪れた人々の目を楽しませました。




点灯式



本別中央小学校開校40周年記念事業 「ようこそ先輩」



講演する野崎さん

大切なのは目標に向かって 努力すること

本別中央小学校開校40周年記念事業実行委員会（岡崎眞也実行委員長）主催による「ようこそ先輩」が2月5日、同校卒業生で長野オリンピック（1998年）のスピードスケート競技に出場した野崎貴裕さん（35）を招いて同校で開催されました。

この事業は5、6年生98人の合同体育の授業に併せて行われ、スケートの実技指導と講演を実施。

実技指導では、長野五輪で着用したレーシングスーツで模範滑走をしたほか、子供たちと一緒にスケートを滑りながら、足の使い方などを丁寧にアドバイスしました。

講演では、「小学校時代にやっていた水泳、スケートは親にやらされていた。初めてスケートをやりたいと思ったのは中1の冬」などと当時の思い出を紹介したほか、スケートを通して学んだ「やらされるのではなく、自分がやること。悔しい思いを忘れないこと。目標を立て、その目標に向かって努力すること」の大切さを強調。

最後に、「大きな目標があるから、小さな努力ができ、その努力が才能につながる」と語り、「みなさんも目標に向かって頑張ってください」とエールを送りました。



真剣な眼差しでスケートの実技指導を受ける生徒

本別町行政改革 推進委員会

さらに効率のよい行政運営の推進



報告書について説明する新津部会長、
棚原会長、今野班長（右から）

本別町行政改革推進委員会（棚原千佳子会長）の事務事業評価調整部会（新津讓部会長）と使用料等検討班（今野公司班長）の評価・検討が終了し2月3日、新津部会長、今野班長とともに棚原会長が役場を訪れ報告書を高橋正夫町長に手渡しました。

報告書は、外部組織としての立場から町民の目線で、行政の執行およびその成果が客観的に評価された内容で、いずれも今後一層の成果向上の期待が込められたものとなっていました。

町では、住民への質の高い行政サービスの提供と適正な受益者負担を求める必要性の報告を受け、平成22年度予算に反映させるなどさらに効率のよい行政運営を進めていきます。

評価、検討された内容は次の通り。

評価・検討 された内容

事務事業評価 調整部会

「改善・見直し（削減）」
と判断された三事業

- ◇ スケート振興
- ◇ 各種スポーツ施設の維持管理（建築物）
- ◇ 各種スポーツ施設の維持管理（野外施設）

極力経費削減に努めること。

「検討」と判断された一事業

◇ ふるさと産業開発センター管理運営
当初の目的は達成しているため、関係者と協議を進め施設管理運営のありかたについて検討すること。

使用料等検討班

見直しが必要と判断された五項目

- パークゴルフ場の一か月定期券の増設
- 国、道の関係機関を減免団体から削除
- 小・中・高校生の個人使用料を廃止
（体力増進センター、町民水泳プール、町体育館、多目的アリーナ、柔剣道場）
- 要りハビリ者の個人使用料廃止（体力増進センター、町民水泳プール）
- 町外者が営利を目的として使用する場合、一般使用料を二・五倍から三倍に引き上げ

本別町使用料等審議会

平成二十二年度改定に向けて答申

町公共施設の使用料や手数料を審議する本別町使用料等審議会（岡崎勉会長、十二人）が二月十七日開催され、平成二十二年度改定に向けた提案に意見を求められ、答申書を高橋正夫町長に手渡しました。
町はこの答申を受け、四月一日からの実施に向けて事務を取り進めていきます。



高橋町長（右）に答申書を
手渡す岡崎会長（左）

こんな活動しています



本別・南三陸ふるさと
交流研修会宮城県派遣



ふれあい郵便もちつき交流会



子ども七夕まつり

- 平成二十一年度活動内容
- 4月 定期総会
 - 5月 十勝東北部三町中高生リーダー春季研修会(指導リーダー) 十勝東北部三町中高生リーダー「子どもの日フェスティバル」(会場ボランティアスタッフ)
 - 6月 第五十一回つじ祭り(会場ボランティアスタッフ) 通学合宿「ほんべつ元気学宿」(活動支援スタッフ)
 - 7月 ジュニアリーダー養成講座(指導リーダー) 児童館三館合同キャンプ(活動支援スタッフ)
 - 8月 宮城県派遣者事前研修会(指導リーダー) 子ども七夕まつり(会場ボランティアスタッフ)
 - 9月 本別・南三陸ふるさと交流研修会(サブリーダー派遣) ジュニアリーダー養成講座(指導リーダー)
 - 10月 子どもサイクリング(活動支援スタッフ) 北児童館レクリエーション(指導リーダー) 高齢者運動会(会場ボランティアスタッフ)
 - 11月 十勝東北部三町中高生リーダー秋季研修会(指導リーダー) 本別町少年少女リーダー研修会(活動支援スタッフ) ネイバル秋の子どもまつり&子どもの生活習慣づくりフォーラム(企画ボランティアスタッフ)
 - 12月 ふれあい郵便もちつき交流会(会場ボランティアスタッフ) 冬期自主研修会(自主企画)
 - 1月 子ども将棋・百人一首大会(活動支援スタッフ) 本別町成人式(会場ボランティアスタッフ)
 - 2月 あつまれ!銀河キッズ(指導リーダー) 十勝子ども雪合戦(活動支援スタッフ)
 - 3月 本別・南三陸ふるさと交流研修会(指導リーダー)
- 団体受賞歴
- 平成十九年度 「北海道青少年顕彰」(北海道知事) 「十勝管内教育実践活動表彰」(十勝教育局長)
 - 平成二十年度 「本別町社会福祉表彰」(本別町社会福祉協議会長) 「内閣府善行青少年表彰」(国務大臣) 「本別町少年少女文化奨励賞」(本別町教育委員会)



小学生体験事業「あつまれ!銀河キッズ」での三町中高生リーダーのみなさん
(1月23~24日 ネイバルあしよるにて)

昭和五十九年から始まった本別町と宮城県南三陸町(旧志津川町)との「ふるさと交流」がきっかけで生まれた「本別ボランティアクラブかめ」。

「ボランティア活動をしたい」という、宮城県に派遣された中高生が平成八年に設立して以来、自主研修活動、お年寄りとのふれあい、地域のイベントへの協力といったボランティア活動を通して、元気な地域づくりに貢献しています。

現在は中学一年生から高校生まで三十一人の会員が在籍し元氣いっぱい活動をしています。

私は本別ボランティアクラブかめという団体が本当に大好きです。中学1年生で入会して今年で5年。私にとってこの5年間はあつというまででした。中学生のころは、活動が楽しみで仕方がなく、毎日のように中央公民館へ足を運んでいました。私にとって「かめ」は第二の学校。なくてはならないものでした。

中学生の時、かめの活動でたくさんを経験し、今は後輩にいろいろ教える立場になりました。会長という役職についた気負いから、なんでも一人でやろうとして自分自身にプレッシャーをかけていました。みんなで一つのことを達成するのに意味があるのにもかかわらず、私はそんなことすらわからなくなっていました。でも今は「見守ること」も自分の仕事の一つだと考えられるようになりました。

そんな私もあと数か月でこの団体から卒業しますが、小中学生のみなさんに伝えておきたいことがあります。

もし何かに取り組むとき、例えばそれが学校行事で何かを任せられたときなどでも、「失敗したらカッコ悪い」「はずかしいからいやだ」と思う人がいるなら、考え方を少しだけ変えてみてほしいということ。「失敗した分だけ自分が成長する」。与えてもらったせっかくのチャンスを自分のために使って、失敗してもいろんなことにどんどん挑戦してほしいと思っています。

そして先輩になった学年のみなさんは後輩を見守ってあげてほしい。「人を育てる」というのは、すべてのことを教えることではないと思います。見守ってあげることも一つの仕事。答えが見つからないことでも、「悩むこと」が成長につながるはずですから。元気学宿や銀河キッズなどの行事に参加してくれている小学生のみんなが「中学生になったらかめに入る」と言ってくれることが本当にうれしいです。かめに入ってたくさんの経験をしてくれるととてもうれしいです!

最後に私たちを支えてくださっている町民のみなさん、教育委員会のみなさん、ご支援いただき本当にありがとうございます。今後とも変わらぬご支援、ご指導くださいますようよろしくお願いいたします。

本別ボランティアクラブかめ 第13代会長 山岸郁美(本別高等学校2年)



本別ボランティアクラブかめ

**中高生クラブ
会員募集中!**

町内外で行われるイベントボランティアや子供たちとのレクリエーション交流などに興味がある中高生のみなさんを随時募集しています。

お問い合わせは次まで。

中央公民館 ☎22-5111

「かめ」をやってみたいけど、なんか厳しくて怖そうだし、土日忙しそうだし」たまにこんな話を耳にします。しかし、全くそんなことはありません。

入会・退会は自由。自分が参加してみたい事業への自由参加が原則です。だれも強制参加などはしません。みんな、自主的に参加しています。

普段は、学校・部活・習い事。自分に時間があるときに参加。これがこの団体のいいところです。

「悪いところってないの?」

それはあります。体力が勝負ってところかな?

特にいいところは、「今、自分は生きている。がんばってる」という実感ができるということです。それは、汗と笑顔と涙とガラガラにかれた声からわかります。何か物足りない、何かを周りに伝えたい、新しい自分を作りたいという人こそ、ぜひ活動に参加してみてください。

「充実感」がみなさんを大きく成長させると思います。

社会教育担当(HVCかめ事務局)

新型インフルエンザ

最近の新型インフルエンザの発生状況は、集団感染の事例もなく、全道的にも町内的にも少し落ち着きをみせています。しかしながら、今後も繰り返し流行することが考えられること、さらに新たなウイルスに変化する可能性があることなど決して油断はできません。予防には「うがい」「手洗い」「せきエチケット」などの心掛けが大切ですが、予防接種により重症化を防ぐことも重要です。

新型インフルエンザワクチン 接種はお済みですか？

新型インフルエンザの予防接種については、昨年の十月から優先接種対象者に対して順番に接種を行ってきましたが、二月からは希望するすべての人が接種できるようにになりました。
※現在道内で使用されている新型インフルエンザワクチンは、すべて国産のワクチンです



接種回数は、幼児と小学生以外は1回です

接種費用は1回目3600円、2回目2550円です

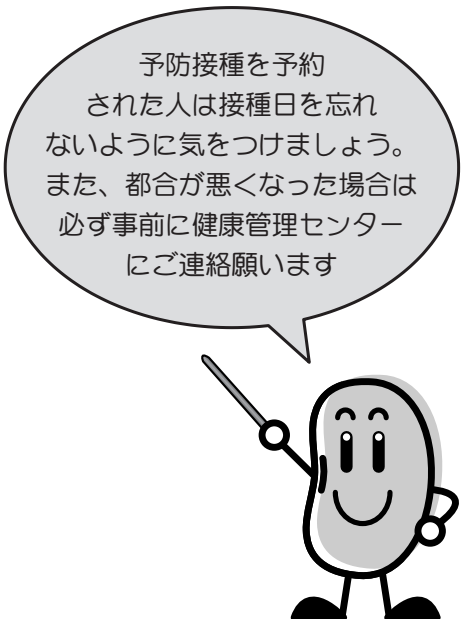
町民税非課税世帯については接種費用負担を免除（無料）とするほか、課税世帯においても次の通り費用の半額を助成します。
『費用負担免除対象者（無料）』
町民税非課税世帯に属する人（生活保護含む）
『半額助成対象者』
妊婦・一歳から就学前の幼児・小学生から高校生・一歳未満児等の保護者で町民税課税世帯に属する人
※免除、半額助成の対象になる人で町外の医療機関でワクチンを接種した場合は、一度費用を支払ってから、健康管理センターまたは保健福祉課に領収書および接種済み証を持参して必要な手続きをお願いします

町内での接種場所および接種日

町国保病院
毎週月曜日
午後3時30分～午後4時
幡医院
3月10日（水）、3月24日（水）
午前9時～午前11時30分
午後1時30分～午後5時

予防接種は予約が必要です

接種を希望される人は、次まで来所のうえお申し込みください。お申し込み時には、税情報などに関する同意書が必要となりますので、印鑑をお持ちください。
○健康管理センター（北六丁目）
☎22-22219
○保健福祉課（北二丁目）
☎22-8130
※予約は接種日の一週間前までをお願いします
※お申し込み時には印鑑をお忘れなく！



予防接種を予約された人は接種日を忘れないように気をつけましょう。また、都合が悪くなった場合は必ず事前に健康管理センターにご連絡願います

ワクチン接種は「任意接種」です

ワクチン接種は多くの方々には重症化予防というメリットをもたらしますが、接種後に腫れたり熱が出るなどの症状が見られたりするほか、まれに重い症状を引き起こす可能性もあります。この点をご理解いただいたうえで、個人の判断により接種を受けていただくようお願いいたします。

詳しい情報は本別町のホームページをご覧ください
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp>

お知らせー新型インフルエンザ

新型インフルエンザに関するお問い合わせは、健康管理センターへ ☎22-22219

国民年金

その95

加入者の種類は三種類

20歳になると、日本国内に住所のある全ての人国民年金に加入しなければなりません。加入者は、職業などにより保険料の納付方法や給付の内容が異なるため、3種類に分類されます。

第1号被保険者

自営業者、農林漁業者、無職、自由業者、アルバイト、学生などで20歳以上60歳未満の人

第2号被保険者

厚生年金や共済組合に加入している会社員や公務員などの70歳未満の人

第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている配偶者で20歳以上60歳未満の人

◎保険料の納付方法

第1号被保険者
日本年金機構から送付される納付書で、各金融機関等で自分で納めます。

※経済的な理由等で保険料を納めることが困難な場合には、申請することにより学生納付特例や若年者納付猶予、保険料免除などの制度を受けられることがあります
第2号被保険者
会社や共済組合がまとめて納めています。
第3号被保険者
個別に納める必要はありません。配偶者（第2号被保険者）の加入する年金制度（厚生年金・共済組合）が負担します。ただし、加入の際は手続きが必要です。

◎任意加入制度も利用できます

・60歳になるまでに年金を受けるための資格期間（25年）を満たすことができない人は、65歳になるまで加入して、不足期間を満たすことができます。（昭和40年4月1日以前生まれの人は70歳になるまで）
・すでに資格期間は満たしているが、年金額を増やしたいという人も、65歳になるまで加入することができます。

こんなときは届出をしましょう

- 20歳になったとき（学生も加入します）
●すでに加入している人
①60歳前に会社をやめたとき
②引越したとき
③結婚して会社員等の配偶者になったり扶養されたとき など

詳しくは

役場住民課戸籍年金担当へ

☎22-81288（課直通）



平成22年度新入学児童名簿(学校別50音順)

町教育委員会では、今年四月に小学校へ入学する児童の名簿を作成し一月末に保護者宛に就学通知書を送付しています。今年の新生児は、平成十五年四月二日から平成十六年四月一日までに生まれた児童で、本別中央小学校六十一人、勇足小学校八人、仙美里小学校四人の合わせて七十三人です。該当する人で名簿から外れていたり、就学通知書が届いていない人がいましたら、早めに教育委員会管理課学校教育担当(☎22-2331)にご連絡ください。

本別中央小学校 (61人)

青木 克郎 井出 天翔 安久津 成郎 阿部 凌也 荒井 美春 石川 泰共 石坂 琉晃 伊豆 彩季 井出 天翔 井出 真花 伊東 真花 岩崎 晃司 内田 咲司 江花 美安 遠藤 美安 岡田 祐佑 藤田 想詠

菊池 妃織 経堂 昂平 倉川 菜昂 倉田 若菜 倉田 若菜 郡田 柚若 駒井 瑠柚 小松 翔瑠 坂井 翔瑠 佐々木 彩香 佐々木 彩香 太田 花智

菅島 康平 佐藤 叶な 佐藤 叶な 篠田 直央 島田 直央 清水 直央 鈴木 直央 高橋 直央 田川 直央 瀧澤 直央 千本 直央 塚本 直央 露木 直央 戸叶 直央 栃原 直央 中捨 直央 原山 直央 東山 直央 平尾 直央 平尾 直央 廣田 直央

勇足小学校 (8人)



(二月二十二日現在)

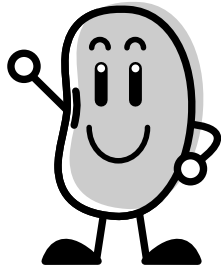
吉遊 山門 森真 松本 舛本 前田 前田 本寺 星沢 藤川 府川 川口 佐田 原田 加藤 原田 伏見 布施 尚哉

仙美里小学校 (4人)

大関 翔と 久木 夏那 竹田 萌々 二村 由理 野村 春菜

シリーズ 第六次本別町総合計画

Part10



第六次本別町総合計画を策定する町総合計画策定委員会(今野公司会長)の五回目の会議が二月五日、町体育館中競技室で開催されました。今回は第三回北海学園大学開発研究所開発特別講座として、同大学の神原勝教授を迎え、「総合計画と自律する自治体の形成」と題して講演をいただきました。



神原教授は、厳しい時代だからこそ、限られた財源をどのように活用するか、将来を見据えて自分たちの力できっちりとした計画を立てることが大切であると訴えました。また、「日本の財政状況が悪化する中、地方分権が進むものの、交付金の割合増は見込めない。しかし、これからは交付金の使いみちが自由になることが増えるだろう」と話し、「将来への確かな道すじを作るためにも、少ない財源やまちの資源を活用した地場産業を盛り上げ、地域での雇用につなげていくことが必要」と提案しました。さらに、総合計画策定については、行政の減量化や将来を予測しながら、計画にはない政策は行わない原則を念頭に、町民全員の力で仕組みをしっかりと作りあげ、総合計画を軸に関連制度も動かしながら、発展させていきたいと思います。自律自治体の形成を呼び掛けました。会場に集まった参加者約七十人は、真剣な表情で耳を傾けていました。



総合計画についての問い合わせ 企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎22-8121 (課直通)

全道新人剣道大会で健闘 126

1月8日から10日に千歳市で実施された全道中学校新人剣道大会に出場した本別中学校剣道部が1月26日、教育委員会を訪れ大会での結果を報告しました。8日、9日にリーグ戦で行われた練習試合の初日では管内参加校で最上位の成績を収めたものの、10日の新人大会では1勝1敗で健闘むなしく予選リーグ敗退。選手たちは「この経験を生かし、夏の中体連本番に向けて稽古に打ち込みたい」と意気込みを語りました。澤田満教育長は「技術だけではなく精神力も磨き、素晴らしい剣士になってください」と激励の言葉を贈りました。



交差点の見通しが良くなりました 23

㈱本別建設工業（佐藤武社長）と関連会社による排雪ボランティアが2月3日、4日の2日間、市街地の町道交差点約30か所を実施されました。作業にはダンプカーなどの車両や重機5台が使用され、視界をさえぎっていた雪山を撤去。排雪後は、見通しが良くなり歩行者や通行車両の安全が確保されました。



老人ホームにたくさんの慰問 12 10・21・24

昨年も年末にかけて老人ホームにはたくさんの方が慰問に訪れました。12月10日にはもちつき保存会十五夜会（泉野健会長）が正月用のおもち15kgを利用者や職員と一緒につき上げました。12月21日には陸上自衛隊第五旅団第五高射特科中隊の25人が休暇を利用し訪問。地域支援活動の一環として蛍光灯や窓ガラスをきれいにさせていただき、12月24日にはゴスペル・イン・フィールド（前田晶子代表）の9人が訪問し歌声を披露しながら入所者との交流を楽しみました。また、毎月本別町赤十字奉仕団（藪谷洋子委員長）や民謡披露の方々が、毎週木曜日には個人ボランティアの3人が訪れ、入所者との散歩や張り絵などを楽しんでいます。



もちつきを楽しむ利用者



ゴスペルを披露

勇足中学校教育目標

- (知) 創造性豊かで高い知性を養う
- (徳) 豊かな人間性を育てる
- (体) 強靭で粘り強い体を鍛える



花壇整備

勇足老人クラブ



食育体験学習

J A青年部・女性部



豆腐づくり

豆ではりきる母さんの会



本別高校体験入学

本別高校

勇足中学校の総合的な学習の時間

一年「環境」から拓く
二年「地域」から拓く
三年「福祉」から拓く

現在、年間六十五時間―九十五時間の総合的な学習を行っています。全校共通の時間以外に、それぞれの学年が課題を設定し、その追求を行います。総合的な学習の時間は地域の様々な方々のご協力を得て実施しています。

身につけさせたい4つの力

- ・ 見つける力
- ・ 追求する力
- ・ 表現する力
- ・ 見つめる力

各学校の手作りページ

HELLO 勇足中学校



七月十五日展

本別町歴史民俗資料館



修学旅行売り子体験

函館朝市



職場体験学習

勇足保育所



百人一首講座

勇美帯カルタクラブ

子供たちは 元気いっぱい

26

少年少女冬のレクリエーションの集いが2月6日、河川運動公園芝生広場で開催されました。チーム対抗で行われたゲームには小学1年から5年生の27人が参加。子供たちは、雪まみれになりながら二人三脚交通安全リレーや宝探しなど7種類のゲームを元気いっぱい楽しみました。



ベストを尽くして きました

212

1月30日から2月2日まで長野県長野市で開催された第30回全日本中学校スケート大会に出場した藤本優羽さん（本別中2年）、山下智大さん（勇足中2年）、河野綜太さん（勇足中1年）が2月12日、教育委員会を訪れ大会での結果を報告しました。3人は「決勝に進めなかったものの、それぞれ自己ベストを出すことができた。来年に向けてさらに練習を頑張ります」と成績を報告するとともに次シーズンに向けての意気込みを語りました。



勇足地区公民館まつり

213

第28回勇足地区公民館まつり（実行委員会主催：市原健一実行委員長）が2月13日、同公民館など3会場で開催されました。午前10時から始まったおまつりは、バザーコーナーや作品展示、健康相談のほか、わらじ作りや絵手紙の子供体験教室、ゲートボール大会などの催し物を実施。毎年多彩な内容で練り上げられる芸能発表会には31組が出演し、笑いの絶えない盛り上がりを見せました。会場にはお年寄りから子どもまで、地域に暮らす幅広い年代の人たちが集まり、公民館は一日中にぎわっていました。



本格シーズンに向けて 第30回本別町室内 陸上競技会

214

今回で30回目となる本別町室内陸上競技会（本別陸上クラブ主催：我妻勇次会長）が2月14日、銀河アリーナで開催されました。町内の小中高生50人を含め、管内から249人が参加し、400m走や砲丸投、走幅跳など21種目のトラック、フィールド競技で競われ、本格的な陸上シーズンに向けての仕上がりを確認していました。



一本を目指して

214

本別町鏡開き少年柔道大会（本別柔道連盟主催：木南孝敏会長）が2月14日、町柔剣道場で開催されました。大会には、本別柔道少年団の小学1年生から中学3年生までの16人が参加。子供たちは、1本を目指して立ち技や寝技などを積極的に掛ける気合の入った試合を展開していました。成績は次の通り。（敬称略）

小学生低学年の部 優勝＝井出景介
小学生中学年の部 優勝＝成田友美
小学生高学年の部 優勝＝竹田太地
中学生の部 優勝＝川島昂也



おいしいもちがつけました

218

ゆうあいの里（勇足小規模多機能型居宅介護事務所）運営推進会議（小坂英幸委員長）とゆうゆうサークル運営委員会（山田英雄委員長）、福寿草の会（佐藤猛運営委員長）の共催によるもちつき交流会が2月18日、勇足地区公民館で行われました。これは地域に暮らす人たちの親睦や交流を深めるために行われたもので、憩いの会（篠原恵子代表）らの協力も得て、「ヨイショ！ヨイショ！」の掛け声と手拍子に合わせ、勇足小学校の児童が杵と臼でもちをつきました。つきたてのモチは、児童らがあんもちや雑煮、きなこもち、納豆もちにして、ゆうあいの里利用者など会場に集まった約100人でおいしく食べました。



手品ってすごい！

219

家庭支援・教育事業「なかよし」による「ばあちゃん先生とあそび」が2月19日、田西昭子さん（柏木町）を講師に招き子育て支援センターで開催されました。参加した20組43人の親子は、歌に合わせて体を動かす「ゆび遊び」でスキンシップを図ったほか、繰り上げられるやばあちゃん先生の「手品」に歓声を上げるなど、親子で楽しい時間を過ごしました。



キンボールで交流

220

本別町スポーツ少年団本部（久能利幸本部長）による本別町スポーツ少年団交歓大会が2月20日、町体育館で開催されました。今年は直径120cmのボールを使い得点を競う「キンボール」を実施。得点を取るたびに歓声や拍手がわき、参加した7少年団の12チーム約100人は、爽やかな汗を流し交流を深めました。成績は次の通り。（敬称略）

優勝＝ミニバス少年団D
準優勝＝ミニバス少年団A
第3位＝テッチャンズA（水泳少年団）



未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんのお愛に包まれてすくすく元気に育ってね!



勇足東4
山下 仁来 (千明ママ)



美蘭別
井原 優樹菜 (理恵ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

みんなの健康

307

毎年この季節になると、ノロウイルスを原因とするウイルス性のおう吐、下痢症が流行します。乳幼児から高齢者まであらゆる年齢の人に発症し、特に集団生活を送っている施設や学校などでは、施設内で感染し大流行することがあります。

感染予防のために

はき気、おう吐、下痢は一日数回から十回以上と様々です、感染して発病するまでの期間は平均一〜二日と短く、症状が続くのも数時間から数日と短期間で、発熱の頻度は低く、発熱してもあまり高い熱とならないことが多いようです。しかし症状が落ち着いても一週間から一か月程度、便中にウイルスの排泄が続くことがあります。

能と言われていますが、その流行を最小限に食い止めるための家庭での予防方法、注意点を挙げてみました。○最も重要な予防方法は手洗いです。帰宅時、食事前には、家族の方々全員が流水、せっけんによる手洗いをを行うようにしましょう。特に調理するときは十分に流水、せっけんを手を洗ってから行うようにしましょう。ノロウイルスはアルコールが効きにくいいためせっけんを洗い流すことが重要です。○貝類の内臓を含んだ生食は、時にノロウイルス感染の原因になることを知っておきましょう。○家族が不幸にして、ノロウイルスによるおう吐、下痢症になった場合の衣類や物品、おう吐物を洗い流した場所の消毒には、塩素系消毒剤(ハイターなど)を使用してください。

本別町国民健康保険病院
看護師長 長利留美

100歳長寿おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈

本別町向陽町の森山チヨさんが2月6日に100歳を迎えられ、高橋正夫町長から敬老祝い金(10万円)が贈呈されました。チヨさんは明治43年2月6日本別町押帯で生まれ、昭和7年に故徳一さんと結婚。家業の農業を営みながら男5人女4人のお子さんを育て、孫17人、ひ孫13人に恵まれました。贈呈に駆け付けた家族は「これまで大病もなく、周りの皆さんに支えられて長生きすることができました。現在も、食事をしっかり取り、元気に過ごしています」と話してくれました。



銀河ホップ・ステップ・ジャンプ

足寄町

第35回 足寄町消費生活展

日時 3月21日(日)
午前10時〜正午
場所 足寄町民センター
内容
・リサイクルショップピングコーナー
ご家庭から提供していただいた品を安価で販売します

陸別町

火星・土星観望会 のお知らせ

この時期きれいに見える火星と土星をぜひご覧ください。
期間 3月17日(水)〜28日(日)
場所 銀河の森天文台

ご寄付ありがとうございます 平成22年2月2日から2月10日

- 次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- ★本別町老人ホーム指定
タオル100本 …… 向陽町 村田ミツエ
 - ★本別町公共施設指定
焼き砂1,000袋(4kg入り)
…… 道路工業株式会社十勝営業所 所長 星野黒義明
 - ★本別町特別養護老人ホーム指定
車いす4台
…… 帯広市 鎌田輪業有限公司 社長 鎌田道也
…… 帯広市 フジ暖房工業株式会社 社長 西藤 亭

- ★本別町国民健康保険病院指定
車いす2台
…… 帯広市 鎌田輪業有限公司 社長 鎌田道也
…… 帯広市 フジ暖房工業株式会社 社長 西藤 亭
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
金1,000,000円 …… 帯広市 角田俊彦 (内訳)
- ★福祉でまちづくり推進事業 …… 金200,000円
 - ★日本の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 金200,000円
 - ★自然との共存・環境保全推進事業 金200,000円
 - ★資料館特別展「わが町の七月十五日展」開催事業 金200,000円
 - ★本のまち・夢プラン事業 …… 金200,000円

※このほか技能士会奉仕(旬研ぎ)や旭町ふれあいプラザ陶芸木彫クラブによる作品展示販売など各種コーナーが盛りだくさんです

詳細 足寄町役場住民課住民室 住民生活担当
☎2512141 内線225

開館時間 午後1時〜午後9時30分
入館料(小学生未満は無料)
《昼間》大人 300円
小・中学生 200円
《夜間》大人 500円
小・中学生 300円

その他 期間中の土・日曜日の午後7時から説明会を行います
詳細 銀河の森天文台
☎2718100

すべての世代に 読書の楽しさを

お誕生

1月後半から
2月前半の
届出分

前出兼伸^{けんしん}賢彦^{けんひこ}有美^{ゆみ} 1/6 柏木町
 林空^{そら}聖^{せい}輝^{てる}幸^{ゆき}香^か織^{おり} 1/14 向陽町
 大河内唯衣^{ゆい}朝^{あさ}寛^{かん}子^こ 1/23 清流町
 野口真^{まこと}翔^と孝^{たか}文^{ぶん} 1/26 北8丁目
 野中一^{かず}諒^{りやう}弘^{ひろ}美^み 2/2 チェイ1

おくやみ

伊藤サ夕工^{さゆこう} 89歳 1/14 勇足元町
 我妻春二^{さむらひ} 83歳 1/15 勇足元町
 高橋大作^{たかはし} 32歳 1/18 栄 町
 小澤アキ子^{あきこ} 94歳 1/22 栄 町
 近内春夫^{ちかうち} 72歳 2/2 向陽町
 小笠原 貢^{みつ} 85歳 2/5 月見台
 船山チマ子^{ちまこ} 86歳 2/8 美蘭別
 長谷部熊夫^{くまお} 85歳 2/8 勇足元町
 小松 榮一^{えい} 87歳 2/8 向陽町
 堀内三郎^{さぶろう} 85歳 2/10 新 町
 佐藤豊春^{ゆきはる} 90歳 2/12 新 町
 川岸シズ^{しず} 91歳 2/14 美蘭別
 高橋勝男^{かつお} 74歳 2/14 上本別

わたしたちのまち

前月比

人口 **8,563人(-3)**
 男 **4,218人(+2)**
 女 **4,345人(-5)**
 世帯数 **3,938戸(-6)**

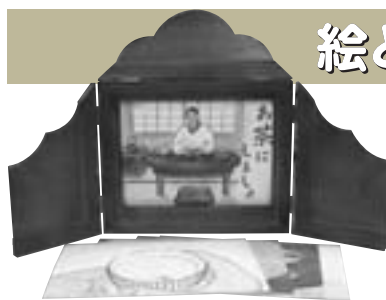
〔1月末日住民基本台帳〕

図書館では、高齢の人にも読書を楽しんでいただけるように、次のような資料を貸し出しています。いろいろな読書を生活の中に取り入れてみませんか。



目にやさしい本

大きい活字のシリーズ。時代もの、ミステリーなど、人気作家の作品がとても読みやすくなっています。



絵と語りで楽しく

高齢者ケアの紙芝居が注目されています。童謡・唱歌を歌いながら演じたり、ことば遊びをまじえたりなど、お年寄りに喜ばれる内容が好評です。

絵本で心豊かに

絵本は、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが楽しめる読書。心をほぐし、いきいきとさせてくれます。

耳からの読書

名作文学の朗読や落語のCDはいかがですか。聞くこと、思い描くことで、脳をいつまでも若々しく…。



映像で感動を

ビデオやDVDで、気軽に名作映画、歴史、趣味の世界を楽しめます。

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称：ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112